

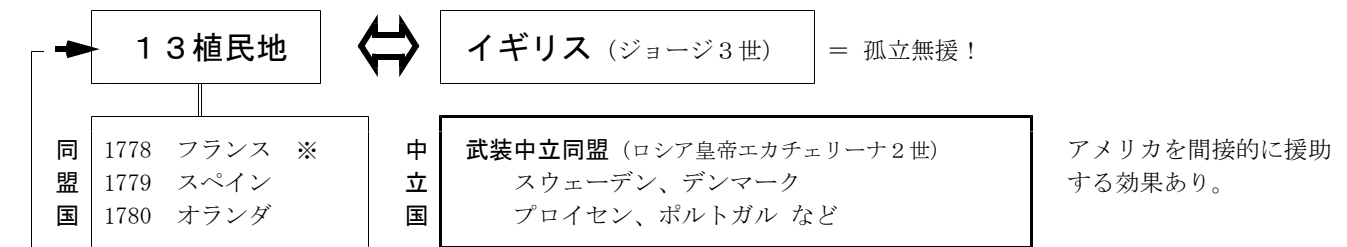
独立戦争勃発

- 1) 1774年、13植民地の代表は【1: 】で第1回【2: 】を開催。イギリスに対する通商断絶同盟の結成を決定。結束して対抗することを約した。  
フィラデルフィア（ペンシルベニア州）はもともとクエーカー教徒が作った町。独立宣言、憲法制定議会が行われ1790年から1800年の間、事実上首都として機能した。
- 2) 13植民地の人々もはじめから一致結束していたわけではなかった。  
武力闘争も辞さないという人々は【3: 】（愛国派）と呼ばれ、イギリス国王への忠誠から武力闘争に反対の人々は【4: 】（忠誠派）と呼ばれた。  
【3】は航空自衛隊も配備している広域防空用の地対空ミサイルシステムMIM-104の愛称にも使われている。本当は「Phased Array Tracking Radar Intercept On Target」（目標物を迎撃する追跡位相配列レーダー）の頭文字をとったもの。現代英語では「愛国者」を意味する。映画『パトリオット』（2000年）には独立戦争下の捕虜の虐殺などがリアルに描かれている。アメリカ先住民はひとりも登場しない。
- 3) 1775年4月19日 ポストン北西校外の町コンコードで英軍が武器を接収しようとしたことから、コンコードおよび【5: 】で最初の武力衝突が起き、【6: 】が始まった。両者とも現マサチューセッツ州（ケンタッキー州にもレキシントン市があるが無関係）。
- 4) 1775年 第2回大陸会議は、武力闘争の方針を決定、【7: 】を植民地軍総司令官に任命した。
- 5) 1776年1月以降、トマス=ペイン 1737-1809 は、独立を「常識」であると主張する『【8: 】』（良識）を発表して独立の気運を盛り上げた。ベンジャミン=フランクリン 1706-90 は、パリの社交界を中心に活動しセレブ女性の人気を得、欧州諸国との外交交渉に奔走。独立戦争へのフランスの協力・参戦と、他の諸国を中立の立場に立たせることに成功した。ヨーロッパ社交界では、自然科学者としての業績も彼を助けた。なお、フリーメイソンの会員である。  
フランクリンは科学や発明に興味を示し、独学で様々な業績を残した。静電気を貯めるライデン瓶の実験を知り、電気に興味を持ち、1752年、雷を伴う嵐の中で凧をあげ、凧糸の末端にワイヤーで接続したライデン瓶により雷雲の帯電を証明するという実験を行った。フランクリンは事故を起こさないよう、かなり慎重に実験の準備を進めたことが明らかになっている。
- 6) 1776年7月4日 【9: (アメリカ) 】発せられる。  
起草者は【10: 】、フランクリンほか。愛国者の結集と外国の支援を期待して発した面もある。大陸会議は独立宣言以降、事実上アメリカ政府として機能した。

自然法理論に依拠し、啓蒙思想に基づく**天賦人権思想**、**ロックのとなえた革命権**など当時の最先端の民主主義思想を結集して独立戦争の正当性を主張。フランス革命の人権宣言に相当する重要文書である。ただし、草案にあった奴隷貿易を禁止する部分は削除され、**黒人の権利は無視され、先住民敵視の表現**もある。女性の権利も書かれていない。  
《頻出》フランスの人権宣言と本文を読んだだけで区別できること！

アメリカ独立宣言 冒頭部分 われわれはつぎのことが自明の真理であると信ずる。すべての人は平等につくられ、神によって、一定のゆるぎのない権利を与えられている。……  
フランス人権宣言 第一条 人間は、自由かつ権利において平等なものとして生まれ、また存在する。……

独立戦争の勝利 はどのようにしてもたらされたか？ もちろん緒戦は大苦戦！



- 1777年 【12: 】の戦い（イギリス軍を降伏させた）の勝利をきっかけに、フランス・スペインの参戦を得た。  
1778年 フランスとの同盟にこぎつけた！ ※ フランスは1778年独立を承認して参戦  
1780年 【13: 】結成（エカチェリーナ2世） 事実上の独立支援  
1781年 【14: 】の戦い アメリカ・フランス連合軍がイギリス軍に大勝  
1783年 【15: 条約】 イギリスはパリ条約(1783)で次のことを約した。

①アメリカ合衆国の独立を承認する。 ②アメリカ合衆国に**ミシシッピ川以東のルイジアナ**を割譲する。  
パリ条約は主なものだけでも3つある。他に4本。〈覚える〉

七年戦争・フレンチインディアン戦争→1763年、アメリカ独立戦争→1783年、クリミア戦争→1856年  
パリ条約と同じ1783年 ヴェルサイユ条約が締結された。

アメリカ独立戦争に関して、イギリスとスペイン・フランスとの間で結ばれた講和条約である。

- ①イギリスは、【16: 】とミノルカ島をスペインに返還。
- ②イギリスは、セネガル（アフリカ西部）とトバゴ島（カリブ海）をフランスに割譲。

フランスは莫大な負債を作ってまで参戦したこの戦争で獲得したものがセネガルぐらいだったため、国内的批判

を浴び、フランス革命の一因となった。

## アメリカ合衆国の形成

- 1) パリ条約 (1783年) によって、アメリカ合衆国という新国家は独立した。しかし、それぞれが独自の憲法を持つ13州の緩やかな連合体であり、もちろん中央政府は存在したが、それは弱体であった。

「アメリカ合衆国」という国名は正式には、大陸会議で1777年に承認され、1781年に発効したアメリカ連合規約による。従って独立達成時点において、既にこの名称でOKであるが、実態はまだ連合会議 (連合規約の発効以後、大陸会議はこう改称された) のままだった。連合規約はアメリカ最初の連邦憲法とも呼ばれるが、以下に述べるように連邦の権限はきわめて限定されていた。

この規約では各州の大幅な主権が認められ、中央政府である連合会議には国防・外交・鑄貨などの権限は認められていたが、徴税権・通商規制権・常備軍の保持などは禁じられていたので、政治的・経済的な困難が続いていた。強力な中央政府の樹立を望む商工業者を中心とする連邦派 (フェデラリスト) が中心となって憲法制定会議が開かれた。

- 2) 1787年、フィラデルフィアで開かれた【17: 】でアメリカ合衆国憲法が制定された。これは、実に世界で最初の近代的成文憲法である。ただし、これを各州ごとに批准する手続きが必要であり、憲法を支持するハミルトン (財務長官) ら連邦派 (フェデラリスト) に対し、州権の維持を主張する反連邦派 (アンティ・フェデラリスト) は強く、批准はなかなか進まなかった。1788年6月、所定の9州の承認を受けて憲法が発効した。次いで1789年1月、最初の大統領選挙が行われ、同年4月30日、【18: 】が初代大統領に就任してアメリカ合衆国政府が発足した。ワシントンは戦後の復興に専念し、フランス革命には中立で臨んだ。その財務長官は連邦派のハミルトン、国務長官は反連邦派のジェファソンがつとめた。1800年には、ポトマック河畔のメリーランド州から長方形の土地を割り、コロンビア特別区 (D.C.) を建設し、首都を移した (コロンビアはコロンブスに由来する雅号。市名はワシントン。ワシントン大統領に由来するワシントン州はアメリカ西北部にある)。

ワシントン州はアメリカ西北部にある。

アメリカ合衆国憲法を「世界で最初の近代的成文憲法である」とするのはなぜか。

①フランス最初の憲法はフランス革命初期の「1791年憲法」である。

②イギリス憲法は、マグナ・カルタ (1215)、権利章典 (1689) など主なものだけでも20近い法律と伝統・慣習・判例からなる不成典憲法である。俗に「不文憲法」と言われ、全体が慣習法だけのような説明をされているが、法源の大半は議会が制定した法律であり、憲法典というまとまった形態になっていないだけである。1742年のウォルポール内閣総辞職で責任内閣制が成立し、「王は君臨すれども統治せず」という伝統が確立したとされる。これは、近代的立憲君主制の確立を意味するから、遅くとも18世紀の前半には近代的憲法を持っていたことになる。従って近代的憲法として世界で最も早いのはイギリスである。

- 3) アメリカ合衆国そのもの、ないしはアメリカ合衆国憲法の特徴は次の通りである。

- ①【19: 】を明記している。

当時のヨーロッパ諸国では主権者は国王。ただし制定当時 (修正第1~10条においても)、アメリカ合衆国でも先住民、黒人に人権はない。女性の人権も充分には保障されていない。イギリス国王が禁じていたアパラチア山脈以西への移住も解禁され、先住民との戦争は正当化された。

- ②近代史上最初の本格的な共和政国家 この場合、普通「政」を使う。

アメリカ合衆国の独立は広大な領域の国家でも共和政で統治可能なことを示し、ヨーロッパの王権主義者に衝撃を与えた。

- ③連邦主義 (連邦制) を採用した。 連邦制と書く場合、「制」が適切

「大幅な自治権を承認された各州の上に、強力な権限を持つ中央政府 (連邦政府) が立つ」と表現される。

連邦政府は通商規制権を持っていた。 10J

- ④厳格な【20: 】制を採用した……最重要の特徴！ 厳格さはたぶん世界一！

\* 行政権は大統領と中央政府。

\* 立法権は上下両院からなる連邦議会。

州代表としての【21: 】 各州2名 外交面などで上院が優越

人民代表としての【22: 】 人口に比例して選出される国民代表の性格

\* 司法権の独立は連邦最高裁判事を終身制にして厳格に守られる仕組みになっている。

モンテスキュー、ロックの思想が実際の国家機構として現実化したことは驚くべきことである。

- ⑤制定時のアメリカ合衆国憲法には、他の州憲法のほとんどに掲げられていた「【23: 】※」がなかった。そこで、1791年、第1回議会は、憲法修正第1条~第10条として、これを追加した。これ以来、修正に際しては、原文に変更を加えずに、変更内容を修正条項として原文に追加する形をとっており、その数は現在計27に達している。(当教材最終更新時=2017年現在)

※ 基本的人権を保障する条文群のこと。1689年のイギリスの権利章典のことではない。日本国憲法では第3章 (第10条~第40条) が「権利章典」に相当する。

## アメリカ独立革命

No.121、122で述べた全ての過程をアメリカ独立革命と呼ぶことがあるのは何故だろうか？

- 1) 君主の統治権を拒否し、共和政を実現した点、そしてまた、アメリカの市民階級が本国から強いられる、あるいは彼ら自身 (一部の特権的大商人) の持つ封建的特権や慣習を打ち破り、自由・平等などの基本的人権尊重、人民主権の原則を掲げた点で【24: 】の性格を帯びているからである。
- 2) 独立革命の過程で、「北部では奴隷制が廃止された」としている参考書もあるが、実際に解放された黒人奴隷は植民地軍に加わった約5千人の一部にすぎなかった。南部では、広範に【25: 】が残された。【26: 】 (ネイティブアメリカン) に対する迫害は何の反省もなく継続された。
- 3) 戦後、ワシントンの副官をつとめたコシューシコは祖国ポーランドの分割に反対してロシアと戦った。独立戦争の勝利は、フランス革命、ラテンアメリカ諸国の独立運動を鼓舞し、1789年のフランスやその後のドイツの革命に影響を与えた。これらは合わせて環大西洋革命とも呼ばれる。